

第19回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う 市民討議会実行委員会記録（要旨）

日 時：平成21年4月6日（月）午後7時10分～午後8時45分

場 所：市役所3階 第2会議室

出席委員：6名

欠席委員：3名

傍 聴：0名

事務局：4名

会議資料：①次第

②実施報告書（案）

③報告書参考例

④第18回実行委員会記録

⑤Well voiceむらやま市民討議会（小林委員長より提供）

1. 開会挨拶（小林委員長）

- ・お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

配布資料の確認（事務局）

2. 市民討議会のまとめについて

（1）討議結果の分析のとりまとめについて

（実施報告書（案）の各グループの話し合いのまとめを参照）

- ・資料におけるグループごとの分析を文章化している②を、A、Bグループの結果の後段部分に移し、どういう傾向が見られたかという分析を文章化すると良いと思う。
- ・資料における①と②は内容が重複しているように感じる。
- ・資料における①の部分は、統一した根拠で記述されていないように感じるので、何らかの法則性が示せるように記載するか、もしくは削除しても良いと感じる。
- ・各表の合計票数が異なっているため、棄権票、無効票がわかるような欄を設けるか、表外に注釈を記載するなどしておくが良い。
- ・①の箇所で「魅力である」「課題である」と断定できるのかどうか気になる。出てきた意見を紹介するというまとめ方でどうか。
- ・確かに、断定することは違和感があるので、修正した方が良い。
- ・先進事例の報告書では断定的に述べられている部分であるが、開催の回数を重ねたうえでの報告書なのでそれが出来るのではないかと感じられる。今回は結果の掲載にとどめ、読み手が判断すれば良いと思う。

- ・②は残し、体裁は見開きとし、右ページ下方にA、Bグループの共通する事項などの分析を残せたら良いのではないかと思う。
- ・①と②をまとめた形で文章化できると良いと思う。
- ・①を削除し、②を現在のままもしくは修正する形で、暫定的に⑤として扱い、さらにA、Bグループの特徴を書き起こすことができれば追加する形でどうか。
- ・せっかくA、Bグループに分けたので、共通もしくは相違などの比較がコメントできると良いと思う。
- ・まとめ方については今日の議論で結論とせず、事務局の修正案を見て、再度検討することとしたい。

(2) 報告書案について

- ・当日の討議シートの内容をデジタル化した資料は、多くのページを要するので、巻末資料としたほうが読みやすいと考える。
- ・各グループの投票結果（順位別）は、まとめページの前後もしくは巻末資料とするほうが良い。
- ・討議シートをデジタル化したものも配布資料とするが、右上の個人名は空欄としておくほうが良い。
- ・その他の箇所でも個人名が出ないように事務局でチェックしておいてほしい。
- ・はじめて市民討議会に接する人のためにも、「市民討議会とは」という資料があると良い。

→次回の市民討議会に取り組む際に参考となるよう、これまで実行委員会で検討した資料や当日配布した資料など一式を盛り込んでおきたいと考えている。

- ・立川青年会議所で作成した報告書はもう少し簡単なものに仕上げている。一般の方に読んでいただくことを考えると、報告書の読みやすさ、分かりやすさも大事である。

→行政が作成する書類は固くなりがちなので、実行委員の皆さんのご意見を取り入れて読みやすいものにしていきたい。また、経過資料等は事務局が作成できるが、評価に関する部分などは実行委員の皆さんに作成していただく部分もあると思うので、今後よろしくご検討願いたい。

(3) 中間報告会に用意する資料について

- ・当日の討議シートを会場内に貼り出す。
- ・中間報告会には報告書全体は不要で、討議結果のまとめ部分のみの資料で良いと考える。中間報告会は、討議結果のまとめの部分が市民討議会参加者の意見を忠実に反映しているかどうかをチェックしてもらう機会とする。なお参加者は討議内容に関して、運営や報告書全体に関しては実行委員会の領域となるため、中間報告会で

参加者から討議内容以外についての意見が出た場合には聞きおくということで良いと思う。

- ・ 中間報告会の当日は、話し合いのまとめについてを中心に進める。

3. 第18回実行委員会議事録の確認

- ・ 第18回実行委員会議事録については、特に意見もなく、配布資料のとおりで確認された。

4. その他

- ① 第20回実行委員会は4月13日（月）午後7時から行う。

以上